

### 第三期中期目標期間 国立大学法人評価における改善・指摘事項対応状況一覧（機構設置前）

岐阜大学			
年月	評価種別	改善・指摘事項	改善・指摘事項への対応
H29年11月	平成28年度に係る業務の実績に関する評価結果（国立大学法人評価委員会）	情報セキュリティを脅かす確率が高い事例が発生し、また、必要な情報セキュリティ対策が講じられていないことから、再発防止に向けた組織的な取組を更に実施することが望まれる。	情報連携統括本部の改組を行うとともに関係各委員会等の再編・整備を行い、再発防止に向け体制を強化した。全構成員向けに実施したセキュリティ研修に加え、マネジメント上の課題を解決するため、役員等を対象としたセキュリティ研修会を実施した。
R1年11月	平成30年度に係る業務の実績に関する評価結果（国立大学法人評価委員会）	「教育研究院において、各部局から提出された人事計画を審議を、全学的な戦略に基づき、若手教員の雇用を促進する。」（年度計画56-1）については、若手教員の割合が前年度（17.5%）から1.2ポイント減の16.3%となり、若手教員の雇用促進ができていないため、年度計画を十分には達成していないものと認められる。	平成29年度に教員組織を一元化し、教員の効果的な採用・配置を検討する組織として「教育研究院」を設置し、若手教員の雇用促進に資するものを「人事計画の検証の視点」のひとつとして定め、効果的な教員の採用及び配置を行っている。 平成31（令和元）年度中（4月～3月）に採用した教員27名のうち、17名が若手教員であり、同年度若手教員採用比率は、62.9%となっている。これにより、令和2年3月31日現在の若手教員の割合は16.8%となり、平成30年度（16.3%）から上昇している。 また、平成31（令和元）年度人事計画（令和2年4月以降採用予定）の承認においては、若手教員雇用の視点から7件の助教採用を承認した。 さらに、令和2年度（令和3年4月以降採用予定）における各部局への人事計画策定依頼にあたり、新たに過去3年間の各部局別若手研究者比率を示した。そのうえで、各部局が若手研究者比率を踏まえた人事計画書の策定を行っている。

名古屋大学			
年月	評価種別	改善・指摘事項	改善・指摘事項への対応
H29年11月	平成28年度に係る業務の実績に関する評価結果（国立大学法人評価委員会）	情報セキュリティを脅かす確率が高い事例が発生し、また、必要な情報セキュリティ対策が講じられていないことから、再発防止に向けた組織的な取組を更に実施することが望まれる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新入生（大学院学生を含む）に対する情報セキュリティ研修の実施。</li> <li>・ 教職員及び学生向けに、情報セキュリティ自己点検を実施。</li> <li>・ 情報セキュリティ対策基本計画に従い、学内外のクラウドを利用できる情報の重要度を定めた情報の格付け基準を策定。</li> <li>・ 個人情報をはじめとする情報の重要度に応じた情報セキュリティの担保のため、東海国立大学機構情報格付け基準及び情報格付手順を策定。</li> </ul>
H30年11月	平成29年度に係る業務の実績に関する評価結果（国立大学法人評価委員会）	「麻薬及び向精神薬取締法」の規制対象である向精神薬について、向精神薬試験研究施設として登録がされていないにも関わらず保管・使用を行うなど不適切な管理が行われていた部局があったことから、再発防止に向けた組織的な取組を引き続き実施することが望まれる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全部局へ「試験研究に用いる向精神薬の管理体制の見直しについて（通知）」を发出した窓口の一本化、定期点検の実施、化学物質管理システムへの登録の徹底等の全学的な体制を継続している。</li> <li>○ 向精神薬を含む許認可が必要な試薬について、毎年の全学調査             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期点検の実施として、年に一度、9月に化学物質を使用している全研究室に対してアンケート調査を行い、向精神薬の保有の有無、届出の有無等、適正な状況であることを確認。</li> <li>・ 年度明けには届出内容からの変更が無いかについて全学に照会を行い、適正な状況であることを確認。</li> </ul> </li> <li>○ 「試験研究に用いる麻薬・向精神薬・覚せい剤・覚せい剤原料・特定毒物の管理に関する手引き」の全学に周知徹底。</li> <li>○ 化学物質安全講習会を毎年開催し、この問題事案が発覚したことの再周知と、適正な対応について教育を実施。</li> </ul>